



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

3日

ドル円はCTA(商品投資顧問業者)から買いが観測されたほか、米株式相場の上昇を好感、そしてM&A(合併・買収)絡みの買いも入ったとの声も聞かれるなか、一時106.47円まで上昇した。ただ、その後は利食い売りが持ち込まれ106円を割り込む場面もあった。

4日

ドル円は本邦輸出企業の売りに押されたうえ、米国で新型コロナ対策の追加経済対策を巡る与野党協議が難航するなか、米10年債利回りが低下したことも重なって一時105.64円まで下押しした。

5日

7月ADP全米雇用報告が予想を下回ったことでドル円は一時105.32円まで下げたが、7月米ISM非製造業指数が良好な結果だったため、下値も限られた。

6日

米長期金利の低下が重しとなり、ドル円は一時105.30円まで下落する場面があった。ただ、翌日の米雇用統計を控えて積極的な売買は手控えられた。

7日

ドル円は良好な7月米雇用統計の結果が伝わると売り買いが交錯した後、上昇した。クドローNEC委員長が新型コロナ追加経済対策を巡る米与野党協議が難航していることを示唆したほか、トランプ米政権が香港政府トップらに制裁を科すと発表。米中関係悪化への警戒感や追加経済対策協議をめぐる不透明感を背景に、リスクオフのドル買いも散見。一時106.05円まで上げた。

総括

先週のドル円は方向感がなかった。週初めには106.47円まで上昇したものの、上値では本邦輸出企業の売りに阻まれると、その後は週半ばにかけて米長期金利の低下を受けて105.30円まで下げた。ただ、週末には調整から106円台を回復するなど狭い値幅のなかで振れた程度となった。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
3日	23:00	月	USD	ISM製造業景況指数	*	7月	52.6	53.6	54.2
4日	13:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	0.25%	0.25%	0.25%
5日	21:15	水	USD	ADP雇用報告	前月比	7月	236.9万人	120.0万人	16.7万人
5日	23:00	水	USD	ISM非製造業景況指数	*	7月	57.1	55.0	58.1
6日	15:00	木	GBP	BOE政策金利	*	*	0.10%	0.10%	0.10%
7日	21:30	金	CAD	新規雇用者数	*	7月	95.29万人	40.00万人	41.85万人
7日	21:30	金	USD	雇用統計NFP	前月比	7月	480.0万人	158.0万人	176.3万人

一言コメント・・・BOEは市場予想通り政策金利と資産買い入れ枠の据え置きを決定しましたが、ベイリーBOE総裁が会見でマイナス金利政策について「選択肢にあるが新型コロナ危機への対応で活用する考えはない」と言明。マイナス金利導入の思惑が後退したことでポンド買いが強まる場面がありました。

先週の注目された要人発言

- 4日02:18 ブラッド米セントルイス連銀総裁「7月の減速は回復まで景気が上下することを示している」「4月が景気後退の底のようだ」「新型コロナウイルスの影響は予想よりも長引いている」
- 4日06:18 ペロシ米下院議長(米民主党)(協議中のコロナ追加支援策について)「今週中の合意を望むが、おそらく来週末までは合意できないだろう」
- 4日13:30 RBA声明「完全雇用への進展が見られ、インフレが2-3%の目標範囲内で持続可能と確信するまで利上げはしない」「緩和的なアプローチは必要な限り維持する」
- 4日23:57 シューマー米上院院内総務(民主党)「コロナ追加対策を巡る政権側との協議、やっと正しい方向に動きだした」
- 5日02:33 ホワイトハウス報道官「民主党はコロナ追加対策協議を完全に無駄にしている」「トランプ政権は4つの提案をしたが、民主党からの提案はない」
- 5日03:38 マコーネル米上院院内総務(共和党)「共和党上院議員の中で意見の相違がある」
- 6日07:39 マコーネル米共和党上院院内総務「両党間では大きな隔たりがある」
- 6日18:03 ベイリーBOE総裁「マイナス金利は選択肢にあるが、活用する計画はない」
- 7日01:06 トランプ米大統領「給与税の徴収停止、立ち退き猶予、失業給付の延長、学生ローン再支払いオプションなどに対し、大統領令を使用できるか検討中」
- 8日04:44 ムニューシン米財務長官「トランプ米大統領に追加経済対策での大統領令を提言する」

一言コメント・・・週末の追加経済対策を巡る米政権と野党・民主党指導部の協議は物別れに終わりました。ムニューシン米財務長官は協議後に「トランプ米大統領に追加経済対策での大統領令を提言する」と述べ、「この日の協議で何の進展もなかった」と明らかにしました。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
11日	21:30	火	USD	PPI	前月比	7月	-0.2%		0.3%
12日	11:00	水	NZD	RBNZ政策金利	*	*	0.25%		0.25%
12日	15:00	水	GBP	GDP速報値	前期比	4-6月期	-2.2%		-20.5%
12日	21:30	水	USD	CPI	前月比	7月	0.6%		0.3%
13日	10:30	木	AUD	新規雇用者数	*	7月	21.08万人		3.00万人
14日	18:00	金	EUR	GDP改定値	前期比	4-6月期	-12.1%		-12.1%
14日	21:30	金	USD	小売売上高	前月比	7月	7.5%		1.8%

今週の注目は・・・米小売売上高

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認下さい

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。